

模試の結果の活用の仕方

2024 年 2 月

個別指導パーソナルワン大河原教室

教室長 向山亮

「検査で治る病気はない！」

模試は病院で受ける検査と同じようなものです。悪いところが分かりましたということです。病院では検査後、必要であれば治療をします。深刻な場合、即入院即手術になります。そのように改善行動をとることで健康を取り戻そうとします。それが、普通の行動だと思います。

模試で現時点でのできる所とできない所がはっきりしました。間違えた原因を分析して対処しなければ、また解けず得点にならないでしょうね。だから解き直しをお勧めいたします。

模試の結果は、これから学習を続けていくあなたにとって、自分の弱点を知り治療的学習をするための宝物です。志望校判定と得点を確認しただけで片付けてしまったらもったいないんです。

では、模試の帳票から自己分析してみましょう。5つの教科の得点のバランスを見てください。特に力を入れるべき教科が読み取れるはずです。また、目標に対してあとどれくらい得点が必要なのかを認識してください。つらい気持ちになるかもしれませんが、逃げてはいけません。これが「現実」だと受け入れましょう。

次に各教科の答案用紙をみてください。弱点が下段のグラフで細かく記録されています。これを見ながら自分の書いた答案をみてください。そして間違えた原因をしっかりと分析しましょう。

例として挙げておきます

- | | | |
|------------------------|---|---|
| ・知らなくて書けなかった | ⇒ | 模範解答を見て理解しながら覚える作業を行う |
| ・分かっていたけど忘れてた | ⇒ | 練習量が圧倒的に不足しています。練習量をこなしてください。
理解⇒練習練習練習⇒できる です。 |
| ・計算ミスした | ⇒ | 練習量が圧倒的に不足しています。練習量をこなしてください。 |
| ・問題をよく読んでいなかったため勘違いした。 | ⇒ | 注意深く問題を読んで解くことを決意しましょう。実はこれがミスの原因になっている方が増加しています。スマホで文字を読むことに慣れてしまっているせいです。スマホでは、読み飛ばしてもおおよその意味が取れるように親切な文章で書かれているからと、その程度の意識レベルで読んでもいい話ばかりだからです。 |
| ・時間が足りなかった | ⇒ | 時間を計って解答するなど、時間配分を考えながら解く訓練をする。 |
| ・解き方がさっぱりわからなかった | ⇒ | 解説を読む、塾の先生に聞く、できる友人に聞くなど解決に向け行動を起こしましょう。 |

次に似たような問題が出たときは必ず得点できるように対策してください。できなかったことができるようになるのは楽しいですよ。楽しんで取り組んでください。

今すぐ始めましょう。成績をすぐに、しかも簡単に伸ばす方法です。